

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 13 - 2

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		消防資機材整備事業					
評価者	担当課名	消防		担当係名	警防係		
	管理職	職名	支署長(課長)	作成者	職名	係長	
		氏名	豊田通敏	氏名	佐藤和幸		
事業の概要	老朽化していく、消防資機材の充実を図り、災害時での威力を発揮し、町民の生命、身体、財産を守るための購入事業である。					全体計画 (平成 20 年度 ~ 23 年度)	
						国・道支出金	千円
						地方債	千円
						その他	千円
						一般財源	5,567 千円
					事業費計	5,567 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~					
	基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化					
	単 位 施 策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化					
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等	消防法、消防力の基準、救急業務実施基準					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	967 千円	888 千円	3,200 千円	500 千円	千円	
	合 計	967 千円	888 千円	3,200 千円	500 千円	千円	

591

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	現在の災害は、年々複雑かつ多様化してきておりこれに対応するためには、消防資機材の更新や新規購入を実施していく必要がある。	多様化する災害に向けた消防資機材の充実			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	現在消防で保有している消防用資機材は、老朽化又は不足しているため、災害現場において活動に支障を来たすことが無いよう、より効果的な資機材の充実を目指した。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		空気呼吸器 3基	目標年度	平成23年度	
		消防用ホース50mm 24本	目標値	別記5	
		軽量管鎗 3本	実績値	別記5	
		救助用資機材 一式	達成度	%	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	消防の任務は国民の生命、身体及び財産を災害や事故から守ることであるため迅速かつ適切な消火活動ができるようにする。	目標年度			
		目標値			
		実績値			
		達成度	%		
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
会議	職員間で資機材の選定会議を実施し、購入予定資機材の実演を行い、使い易さなどを確認する。				
消防用ホース、軽量管鎗購入	指名競争入札により実施する。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	町民の生命、身体、財産を保護するためには必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	協議を重ねた上で、効果的な物を購入したことにより、目標は達成できたと考える。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	災害現場での活動が容易になる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	消防資機材整備事業は、その資機材を使用して町民の生命、身体及び財産を災害や事故から守ることに使用するための事業であるため公平と考える
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通り事業が進んでいる。		

今後の展開方向  
(Action)

継続 / 現状維持		
この事業は、町民の生命、身体、財産を保護するのに必要なため継続していく。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

消防用ホースにあっては、23年度にも購入予定、21年度現在の達成度は50%、空気呼吸器にあっては20年度に3基購入達成度100%、軽量菅鎗にあっては21年度に3本購入し達成度は100%
--